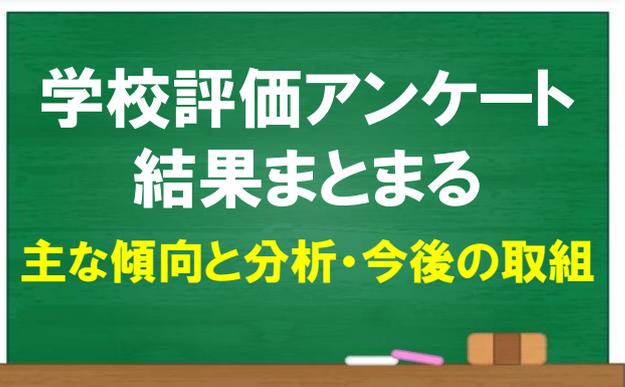




学校は、自主的・自律的で特色のある学校教育活動の展開を期待されています。そのため、自主的・自律的な経営（マネジメント）をする必要があります。そこで、学校はまず、自ら「学校教育目標」を定め、それに基づく具体的な教育計画を立案し実施しなければなりません。それとともにその実施状況について自己評価を行い、その結果を保護者や地域住民などの学校関係者に説明して評価を受けます。つまり、説明責任をしっかりと果たすことが求められているのです。



このたび、令和3年度（2021年度）の、『学校評価アンケート』（対象は生徒・保護者・教師）の結果がまとまりました。中部中学校では、このアンケート結果をもとに、本校における成果と課題を明らかにし、今後の教育実践に活かしていきたいと考えています。下段表中の重点目標はそれぞれ、「1：確かな学力の向上と定着・主体的で対話的に深く学び合う授業づくり」、「2：互いに認め合う人権感覚豊かな生徒を育てる教育実践」、「3：生徒の自主的な活動を大切にした取組」、「4：生徒・保護者・地域の人々の期待に応える学校づくり」となっています。なお、重点目標はこの4つ以外に、「キャリア教育の充実による一人一人の自己実現に向けた教育活動」がありますが、アンケート対象が教師のみとなっているため、結果分析には該当項目がありません。

【令和3年度（2021年度） 学校評価アンケート結果一覧】 \*裏面に結果分析

領域	目標	No	質問内容	肯定的意見（生徒） %			肯定的意見（保護者） %			肯定的意見（教師） %		
				R01	R02	R03	R01	R02	R03	R01	R02	R03
学力	重点目標1	質問1	朝の読書、朝の学習に時間通り真剣に取り組めたか	79.5	87.5	88.8	69.7	75.0	62.6	70.2	100.0	89.5
		質問2	授業は理解できているか	85.9	86.8	89.0	67.4	69.5	65.2	61.5	97.6	94.7
		質問3	授業中はしっかり話を聞き、考えようとしているか	92.3	96.3	93.1	77.5	78.9	72.9	74.2	97.6	86.8
		質問4	先生は意欲を持って授業に参加できるよう工夫しているか	86.9	94.8	91.6	85.5	85.1	73.8	83.4	97.6	97.4
		質問5	学力は身につけているか	83.4	88.0	85.4	64.1	68.1	63.4	55.2	97.6	89.5
		質問6	家庭で毎日勉強しているか	63.4	67.4	65.1	54.2	55.7	54.6	45.4	43.9	50.0
		質問7	学級の人数が少ない方が、学習に取り組みやすいか	75.9	64.6	62.8	87.5	84.3	77.1	88.5	97.6	97.4
人権	重点目標2	質問8	先生や生徒は挨拶ができていますか	89.7	94.1	94.1	87.6	89.0	81.7	88.4	97.6	97.4
		質問9	先生に気軽に相談できるか	72.3	77.7	77.4	79.4	82.6	66.6	86.4	92.7	100.0
		質問10	先生はいじめのない学級づくりにつとめているか	88.9	94.7	93.4	89.4	91.6	78.0	89.8	97.6	97.4
		質問11	先生は生徒のことをよく理解しているか	80.2	86.8	89.3	84.9	89.1	75.6	85.8	92.7	84.2
		質問12	仲間づくりの学習に真剣に取り組めたか	89.2	91.6	94.2	86.6	88.6	76.7	90.3	97.6	97.4
自主活動	重点目標3	質問13	先生や生徒は校内美化に積極的に取り組んでいるか	86.3	92.1	93.0	87.7	87.5	80.6	88.5	80.5	89.5
		質問14	生徒会活動や委員会活動は充実しているか	87.0	92.0	94.3	89.6	88.2	77.5	92.8	87.8	97.4
		質問15	福祉活動・ボランティア活動に積極的に参加しているか	69.1	64.6	57.5	66.0	63.5	43.6	59.2	65.9	73.7
地域	重点目標4	質問16	学校生活を楽しく送っているか	90.2	92.4	93.9	90.0	90.6	86.6	93.1	100.0	100.0
		質問17	学校は、学級や学校の様子を積極的に知らせているか	86.8	91.2	93.5	77.9	81.6	79.7	83.0	100.0	97.4
		質問18	積極的に地域の行事に参加しているか	80.5	73.1	65.4	77.3	68.7	49.7	78.5	72.5	81.6

## 確かな学力の向上と定着 主体的で対話的に 深く学び合う授業づくり



生徒の評価は前年度と比べ、全体的に大きな変化はありません。質問1と3は、教師の評価が、前年度比10ポイントほど低下。これは、教師が落ち着いた環境で学級づくりや授業づくりができるようになった中、より高い経営目標を設定したことによることも理由として考えられます。また、質問6は前年度から6ポイント向上。これは、「Let's'家勉プロジェクト」等の取組やタブレット端末による学習課題の設定等がプラス要素の一つと思われる。保護者の肯定的評価がマイナス傾向にあるのは、新型コロナにより、教育活動を中止や縮小したことが大きいのではと考えられます。

◆依然として「家庭学習」には一定の課題があります。これは、「ネット・ゲーム等のアンケート調査」からも明らかのように、今一度、学校と家庭が密に連携して、生徒の家庭学習の在り様について、スマホやゲームの利用について考える機会を持たなければなりません。

## 生徒の自主的な活動を 大切にした取組



「校内美化」「生徒会活動や委員会活動」について、前年度以上に生徒と教師の肯定的評価が高くなっています。日々の清掃活動の他、今年度取り組んでいる「人権の花運動」に関連して、中庭花壇の草抜きや苗植え等を生徒が行ったので、より実感も大きいと思われる。また、人権サークル「スマイルクローバー」の活動も活発に行われていました。一方、質問15については、生徒と保護者の評価が年々下降傾向にあります。これは、重点項目にある「自主的な」という言葉と相まって、校外での活動を想定し、コロナ禍でそうした機会が無くなった上での回答となっているようです。

◆学校で行う市内老人福祉施設への年賀状送付、赤い羽根共同募金活動などの取組は今後も継続していきます。また、活動の周知と共に、実際に生徒がどの活動に参加し、どう関わったのかについて、「ぜひご家庭でもお子さんと対話を」との声掛けを続けていきます。

## 互いに認め合う 人権感覚豊かな生徒を 育てる教育実践



生徒と教師の肯定的意見の割合は、前年度の数値が維持または向上しています。特に「挨拶」「いじめのない学級づくり」「仲間づくり」に関する評価が両者共に高く、安定した関係性がうかがえます。一方、保護者は、質問9～12で肯定的評価が、前年度と比べ10ポイント以上減少しています。これらは、保護者が学校を訪れ、子どもたちの生の姿を見る機会や教師と顔を合わせ気軽に相談できる機会等が減ったことが大きく影響していると思われる。

◆今後も、with コロナや社会生活の多様性や持続性が求められる中、保護者や地域の方への発信の機会と協働の場の設定について、さらに一工夫する時期に来ているものと思います。また、家庭における親子の対話や時間を共有する機会をさらに充実させることで、保護者の肯定的な評価は高まるものとも考えられ、そういった啓発等も必要となるでしょう。

## 生徒・保護者・地域の人々の 期待に応える学校づくり



「地域の行事」については、「本当は行事が大好きだが今年もほぼなかった」という記述があったことから、コロナ禍であるが故の低評価と予想されます。一方、教師の評価が前年度より上がっているのは、例年と形を変えて開催された「川崎ふれあいフェスタ」への作品出展など、今できることに真摯に取り組む生徒の姿勢を見てきたことが影響しているようです。質問17は、生徒・教師の評価は大変高く、保護者も約80%となっています。行事の中止や変更が相次ぐ中、今年度はさらに情報発信の回数を増やし、学校内の様子や出来事を小まめに周知した結果であると考えています。また、質問16については、三者いずれも評価が高く、生徒は近年最高値を更新しました。

◆中部中学校は、「学校運営協議会」が設置されたコミュニティ・スクールです。このことについて、一層の周知に努め、取組のさらなる活性化を目指します。

## 拾われた 歴史 の1ページ

「先生、こんなものが落ちていました」と、休日にサッカー一部の練習に来た生徒4人が、学校正面の坂の下付近で拾ったものを先生に届けました。それは、右の「記念写真帖」と書かれた川崎尋常高等小学校の古いアルバム、そして昔の兵隊さんなどを写した十数枚のセピア色の写真でした。一旦受け取ってはみたものの、どうしたものかと思案の末、川崎の駐在さんに相談。その後、駐在さんが落とし主探しに奔走してくれた結果、ようやく持ち主が判明したのです。その方は、娘さんが川崎に住んでおられ、娘さんと一緒に古い荷物等を整理し処分しようと軽トラックに乗せていたところ、その一部が吹けて飛んだものとわかりました。

先日、その方が中部中を訪れていただいて、無事持ち主へと戻りました。なお、これらは駐在さんの勧めもあって、亀山市歴史博物館に寄贈されるとのこと。

それはさておき、この持ち主の方（女性で御年84歳）、現在は鈴鹿市にお住まいですが、中部中の出身で、当時はソフトボール部で活躍されていたそうです。ちょっとした落とし物が見つないだ、歴史とご縁のお話でした。

